

主体的に考える児童の育成  
— 国語科における協働的な学習を通して —

3年生の研究授業より

5月29日には、トップバッターとして石井先生に授業を提供していただきました。ありがとうございました。今年度は、各授業の参考になる点をしっかりと共通理解し、次の授業へとつなげていければと考えています。ぜひ参考になる点を自分の研究授業の中に取り入れていきましょう。

今回の3年生の授業で共通理解したいところは以下の点です。

- 教師のねらいに即した意図的なグルーピング
- 意見や考えの可視化(黒板で)
- 「個人の考え→グループでの話し合い→個人での振り返り」  
という協働的な学びの進め方

今後の研究授業の中に、意識的に取り入れましょう！！



遠藤先生の指導助言より

今後の参考になりそうなところをいくつかのせてみます。

協働的な学びを進める際、話し合いのゴールは相互理解なのか、  
合意形成なのか、児童にも具体的に示す必要がある。



落としどころを明確に！！児童にもちゃんと示す！！

「感想」というふりかえりはあいまいになりがち。  
(×おもしろかった ×むずかしかった)



観点を明確に！！  
例:もつとりたいこと。  
分からなかったこと。不思議に思ったこと。